

令和7年4月4日

中学校長様  
剣道部顧問様

名古屋大谷高等学校  
校長 梶浦 伸祐

## 第47回 名古屋大谷杯剣道大会について

春暖の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に多大なるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、第47回名古屋大谷杯剣道大会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。ふるってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

### 大会要項

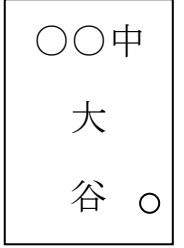
- 1 日 時 令和7年6月7日（土）午前9時45分より
- 2 会 場 名古屋大谷高等学校 洗心館(体育館)  
名古屋市瑞穂区高田町4-19
- 3 主 催 名古屋大谷高等学校
- 4 後援(予定) 中日新聞社、東海テレビ放送、東海ラジオ放送
- 5 参加資格 名古屋市内公立中学校
- 6 競技種目および参加人員
  - (1) 団体戦（男子の部・女子の部）
  - (2) 1校各1チーム（正選手5名 補員2名以内）
- 7 競技の規定および方法
  - 1 試合および審判規則は、「全日本剣道連盟試合ならびに審判規則・細則」、「剣道試合・審判・運営要領の手引き」と「名古屋市内小中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」に準ずる。
  - 2 試合は、3分3本勝負とし、勝敗の決しない時は引き分けとする。チームの勝敗は、勝者数・取得本数の多い順とする。なお同数の場合には、任意の代表者1名による代表者戦を行う。試合時間は2分1本勝負で勝敗が決まらない場合は、2分+2分で小休止（面を着けたまま開始線で休憩）、再度延長2分+2分で面を外して休息・給水（約3分間）とし、勝敗が決するまで行う。
  - 3 竹刀は、男女とも長さ114cm以内（約3.7尺）、重さ男子440g以上・女子400g以上（つば・つばどめは含まない）、先革の太さ男子2.5mm以上、女子2.4mm以上、先革の長さ男女とも5cm以上とする。カーボン竹刀の使用を認める。
  - 4 試合者はマウスガード（マウスシールド）または面マスクを着用する。
- 8 申し合わせ事項
  - 1 開始線の位置は、中心から140cmとする。
  - 2 正面への礼は、第一試合の開始時と、決勝戦の開始時と終了時のみ行う。最初の礼は、「正面に礼」をした後、「相互に礼」をする。最後の礼は、「相互に礼」をした後、「正面に礼」をする。
  - 3 第一試合の開始は、全会場の選手が立会いの間合い（9歩の間合い）に立った時、審判長が合図（笛や声）する。選手が蹲踞後、主審の「はじめ」の宣告後立ち上がって試合を開始する。
  - 4 大将戦は監督・選手ともに正座して観戦する。
  - 5 有効打突は、「打突部」を中心とした竹刀の弦の反対側で刃筋正しく打突したものとする。

6 出場する学校は、紅白目印(幅約5cm×全長70cm以内)を用意する。

7 次の事項に違反した選手は失格とし、相手選手に2本を与え、既得本数および既得権を認めない。

- (1) 選手は剣道衣・袴を着用する。
- (2) 不正の竹刀や用具を使用しない。
- (3) 選手変更は審判主任に選手変更届を提出して行い、補員以外とは交代しない。(交代した選手の再出場は認めない)
- (4) オーダー順の変更はしない。(オーダーと違う選手が試合を行った場合は失格とする)
- (5) 競技中、相手選手や審判員の人格を傷つけるような言動をしない。

8 中央前垂れに校名(必ず〇〇中とする)・姓名を明記した名札をつける。同じチーム内に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れる。名札にチョークでの記入や校名の縫い合わせ・貼り合わせがしてある場合は、原則として大会の参加を認めないものとする。



9 次の事項に違反した選手は反則1回とする。

(1) 変形な構え等の防御姿勢

「変形な構えとは」左拳を概ね目線より上にして、面・右小手・右胴を防御する形をいう。

変形な構え等の防御姿勢をとった場合は、1回目は「合議」の上指導、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。また、打突の意志のない変形な構えや防御の姿勢を続けた場合も同様にする。(公正を害する行為)

(2) つば(鏢) 競り合いについて

試合者は鏢競り合いあるいは相手と接近した場合は、積極的に技を出すか積極的に分かれる努力をしなければならない。試合者は、審判員の「分かれ」や「止め」の宣告を待つのではなく、試合者双方で分かれる努力をする。鏢競り合いの解消に至る時間は「一呼吸(目安としておよそ3秒)」とする。接触した瞬間の引き技、及び、体当たりからの技(発声を含む)は認める。

どちらかが一方が分かれようとしめない、あるいは分かれようとしている相手に(接近していく・ついていく)行為が見られた場合は合議の上、反則適用する。(主審の裁量)

意図的な「時間空費」「防御姿勢(勝負の回避)」による相手に接近するような行為は、試合審判規則1条に則り反則と判断する。

(3) 危険防止について

①体当たり後に打突の意志がない場合や、相手の打突後に相手の上体をすくい上げるようにして必要以上に押ししたり、激しくひっくり返して相手を倒したりした場合は、合議の上、危険行為として反則とする。

②突き技は禁止とする。故意に突っかかる突きは、合議の上、公正を害する行為として反則とする。

(4) 足袋・サポーターについて

①サポーター(足袋・テーピングを含む)の使用は、あらかじめ、各試合場の審判主任に足袋・サポーター・テーピング使用届出用紙を提出する。ただし、指先(足および手)の単独でのテーピングは届け出不要とする。

②サポーター等は、肘や膝等につけるものを足に使用しない。

③ゴムや革およびすべり止めを底に貼ったもの等の使用は禁止する。

10 次の事項に違反した選手は注意・指導する。

(1) 道衣・袴に道場名、ワッペンの入っているものは使用しない。

(2) 面ひもは試合中にとけないようにしっかり結び、さがりの長さを40cm以内にそろえる。

(3) つばの色は、草色または白色とする。それ以外のものを使用している場合は、その場で取り替えさせる。

11 華美への配慮として、次の事項に違反したチームへ注意・指導する。

(1) 剣道衣・袴へつける校名や校章等の刺しゅうは、華美にならないようにする。

(2) 面乳革は、大きさ、模様も含めて華美にならないように配慮し、色は黒色または紺色とする。

(3) 柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので、白色とする。それ以外のものを使用している場合は、その場で取り替えさせる。

12 上段は原則として認めない。ただし、身体上の理由がある時は、協議の上認める。

- 13 応援は拍手で行い、声援はしない。
- 14 次の選手との余計な所作（胴つき、握手）、会場内での円陣を組んでの発声等は禁止する。
- 15 アイガード、ポリカーボネット面の使用を認める。
- 16 競技場に引率・監督・コーチ・選手・補員以外は入場できない。また、競技場内へのストップウォッチ、時計機能付き電子機器（携帯電話・ビデオカメラ等）の持ち込みは禁止する。
- 17 その他、必要と認められる事項については、競技役員が話し合いで決定する。

9 表 彰 優勝1校、準優勝1校、3位2校……賞状授与

10 参加賞 全参加選手に記念品を贈呈します。

11 注意事項

- 1 必ず顧問の先生が付き添ってください。その際の服装は、原則審判員の服装(紺色のブレザー、白シャツ、赤色のネクタイ、灰色のスラックス、紺色の靴下)とします。
- 2 自転車で参加する場合は指定場所に駐輪し、必ず施錠をしてください。
- 3 上履き・スリッパを持参してください。
- 4 大会中の傷害事故に対しては応急処置を行いますが、その後の治療等については一切責任を負いません。
- 5 大会当日「暴風警報」が発令された場合、午前6時迄に解除された場合は大会を予定通り実施しますが、午前6時迄に解除されなかった場合は大会を中止とします。
- 6 十分な駐車場がありませんので、予め本校が『駐車許可証』をお渡しした方以外は、校内への自動車の乗り入れをお断りいたします。公共交通機関でご来校くださいますよう、ご協力をお願いします。  
※学校周辺は駐車禁止区域となっており、有料駐車場もほとんどありませんのでご注意ください。
- 7 新型コロナウイルス感染状況により中止になる場合があります。

12 参加申し込み

- 1 申し込み期日は、**4月22日(火) 必着**とさせていただきます。
- 2 申し込みは、**メールにて受け付けさせていただきます。** ( [gyouji@owari.ac.jp](mailto:gyouji@owari.ac.jp) )  
※詳細については、名古屋大谷高等学校ホームページの「お知らせ」をご覧ください。  
※ホームページURL <http://nagoyaotani.owari.ac.jp/>  
※申し込みをいただいた学校へは、1週間以内に受付完了メールを送信いたします。  
万一、返信が届かない場合には、お手数ですが下記担当宛てにご一報ください。
- 3 **押印した正式な参加申込書を、大会当日受付で、必ず提出してください。**
- 4 組み合わせは、大会事務局で行います。

◇お問い合わせ先 : 〒467-8511 名古屋市瑞穂区高田町4-19  
名古屋大谷高等学校 総務部長 南川 哲也  
TEL (052)-852-1121 FAX (052)852-2358